



観光は平和への  
パスポート

国連世界観光年宣言

# JHS たより

平成30年8月10日(15,000部)発行

2018.8 Vol.63

学校法人日本ホテル学院  
発行所／専門学校日本ホテルスクール  
一般財団法人日本ホテル教育センター

〒164-0003東京都中野区東中野3丁目15番14号 TEL.03-3360-8231(代)  
<https://www.jhs.ac.jp> <http://www.jec-jp.org/> FAX.03-3360-8584

## 三度目の「アジア地区最優秀賞」を受賞

～第47回スコールクラブアジア大会2018・マカオ～  
ヤングスコールクラブジャパンの諸活動が評価されて



表彰の盾受領の記念 左から ロバート・ソーン：スコールアジア会長、  
石塚勉校長：スコール日本会長&スコールアジア副会長、スザンナ・サリーラ：世界会長

去る6月21～24日、マカオで第47回スコールクラブアジア大会が開催され、本校の組織するヤングスコールクラブジャパン(YSCJ)がアジア地区最優秀賞「Skal Asian Area Best Young Skal Club」を受賞しました。これは、2015年マニラ、2016年シンガポールでの受賞に続き、三度目の受賞となりました。

YSCJは、2015年本校英語専攻科の学生78名全員が会員となり、観光業界人との国際交流の機会を増やすために設立されました。2018年現在、世界のヤングスコールは、スペイン、スウェーデン、トルコ、インド、イタリア、イスラエル、USAなど約30クラブに約800名の会員があり、内105名がYSCJの会員、全体の約13%を占め、世界で最多数を占めています。この数に加え、カナダ、オーストラリア、グアム、フィリピン、イタリアでのスコールクラブとの交流をはじめ、国内外での諸活動が評価され、アジア地区で第三回目の受賞となったものです。

なお、2015年78名の会員数でYSCJを発足した年には、第76回スコールクラブ世界大

会2015スペインで、偉業達成との理由により、「特別功労賞」を受賞しています。

スコールクラブは、1934年創設、スペインに本部を置き、現在90カ国、400クラブ、14,000会員の組織で、観光業界の幹部で構成されている世界最大の民間国際組織です。ヤングスコールは、1999年発足、将来、正会員への移行が期待されています。スコールクラブアジアは、太平洋のグアムからインド洋のモーリシャスまでの約1万キロという広域にわたり、17カ国41クラブ、2400人の会員を有し、世界のスコールクラブ会員数の約17%を占めています。日本では、東京、大阪、名古屋の3都市に総数約150名の会員がいます。本校の石塚勉校長は、日本地区の会長、アジア地区的副会長を務めています。

年に一度開催されるスコールクラブの世界大会及びアジア大会等の国際舞台で表彰されること、YSCJの所属するスコールクラブ東京にとって、また本校にとっても、大きな名誉となりました。

## JHS同窓大学は50回開催 21年間に総数774名が参加

校長 石塚 勉



1997年、卒業生の生涯教育の一助として同窓大学を発足、当初の4年間は関東、東日本、西日本で年3回、2001年から東日本と西日本で年2回開催し、今年の札幌開催で50回を迎え、これまで21年間に総延べ人数774名の卒業生に参加していただきました。

その理念は、「学ぶ、遊ぶ、働くの三位一体一体化、より良い人生に向けて」とし、学長や教授の役は卒業生を基本とし、これからの時代に生きる人間として、相互に切磋琢磨し、見聞を広め、価値観を共にして、有意義な人生を送って行こうとするものです。教授役になった人達は、素晴らしいプレゼントをしてくれます。また、久しぶりに会う同窓生は、互いに大きな刺激を受けているようです。

この「JHS同窓大学」は、学校が支援する同窓会活動の一部で、「JHSソムリエクラブ」、「JHSゴルフクラブ」の三つが、年2回定期的に開催する公認活動となっています。卒業生には、多くの皆さんに、こうした交流機会を活用し、人の輪を広げ、明日への活力にしてもらいたいと思います。

なお、これらには教職員及び講師の皆さんも参加可能です。

\*\*\*\*\*

卒業生への各種情報は、

<https://www.jhs.ac.jp/alumni/> をご覧ください。



表彰式 左から、スザンナ・サリーラ：世界会長、ジャン・サンデ：前世界会長、デュシ・ジャヤウエラ：スコールアジア理事、井上嘉世子：スコール東京会長、石塚勉：スコール日本会長&スコールアジア副会長、ロバート・ソーン：スコールアジア会長



2018年3月 JHS同窓大学・神戸開催時、改修直後の姫路城見学

## 2018年度 入学式典を挙行 ～386名がホテル・ブライダル業界をめざし入学～

2018年度の入学式を4月11日、観光業界トップの方々を来賓として招き盛大に式を挙行しました。

多くの保護者、ご家族の皆様の見守る中、観光関係団体、企業、教育関係者計29名のご来賓を代表し、一般社団法人日本ホテル協会専務理事福内直之様から祝辞を頂きました。「ホテルの仕事は日本の印象を決める重要な仕事で、優秀な人材が必要です。平昌オリンピックで日本は過去最高の13個のメダルを獲得しました。メダリストは『基礎』を大事に取り組んできたようです。日本ホテルスクールでは基礎となることを学び、力をつけてください」と激励の言葉を頂戴しました。



### 担任の紹介

2018年度 1年生担任	
A	山本 浩子
B	井口 恵子
C	下田 憲司
D	根岸 純子
E	川辺 修
L	中山 万作
G	糸永 征一
H	名嘉原安智
J	中村 浩二

## 外国人留学生20名のオリエンテーションを実施 ～中国、韓国、ミャンマー、台湾、スイス、フランス～

中国7名、韓国6名、ミャンマー1名、台湾4名、スイス1名、フランス1名、計20名の留学生が入学しました。

これまで在籍していた日本語学校では、日本人がいない環境で学んでいた留学生の皆さんですが、これからは多くの日本人に囲まれ、まったく異なる環境で学校生活がスタートします。

そんなみなさんの不安を取り除くべく4月13日、2018年度入学の留学生オリエンテーションを実施しました。



## 2018年度 留学生活がスタート ～オーストラリア・メルボルン20名、カナダ・バンクーバー15名～

### オーストラリア・メルボルン



オーストラリア・ビクトリア州メルボルンの郊外にあるホルムスグレン・インスティテュートで10ヶ月学ぶ20名の学生が、4月4日にオーストラリアに到着しました。

留学中はホームステイしながら生活し、現地の大学等で英語を学びます。また、留学後半では現地のホテル、レストランでの企業研修も行われます。



本校の海外留学制度は純粋な語学留学と異なり、海外での企業研修ができるところにあります。また、一定の英語のレベルに達した学生は、現地で開講している観光、ホスピタリティ、ホテルマネジメントなどの専門分野のコースを現地の学生と一緒に勉強することもできます。

### カナダ・バンクーバー

海外留学制度を利用して、カナダ・ブリティッシュコロンビア州最大の都市バンクーバー南西部に位置する都市、ニューウエストミンスターにあるダグラスカレッジで4月から学ぶ15名が現地時間の7日に到着しました。



5月から始まったSummer Semester (ELLA Course／英語授業)までの3週間は本校の学生を対象に英語の授業やカナダで生活するための基本情報・知識の習得、そしてキャンパスツアーや市内観光など課外活動が行われました。授業は英語で行われるため、英語の訓練の効果も期待できます。



## 昼・夜間部1年生 現場実習「ステイマナー宿泊研修」を実施 ～横浜ベイホテル東急（昼間部）・ハイランドリゾートホテル＆スパ（夜間部）～

昼・夜間部1年生を対象とした「ステイマナー宿泊研修」を、6月5日～9日の期間に実施しました。

この宿泊研修は、プロのサービスを受けながら食事や模擬披露宴を体験し、現場のホテルスタッフの指導のもと、ベッドメイキングやテーブルセッティングなどの基礎技術を学び、ホテルスタッフとゲスト双方の視点でホテルを体験することで、ホテルの現場の理解をより深め、現実的なホテル・ブライダルの仕事・職業観を育成することを目的としています。

今年は昼間部は2泊3日で、横浜ベイホテル東急、夜間部は1泊2日でハイランドリゾートホテル＆スパにて、ホテル側の全面的なご協力のもと実施しました。



料飲サービス演習  
スタッフの皆さんから指導を受けてます



ベッドメイキングの指導を受ける



テーブルセッティング演習

学生は、実際の宴会場で宴会

用のテーブルセッティング、料理の持ち回りサービスなど、スタッフの立場で研修を受けました。研修期間中は料飲サービスのみならず、客室のベッドメイキング、そして模擬挙式・披露宴も行われ、ホテルスタッフとゲストの両面の立場での体験を通じて、ホテルの理解を深めました。



ベッドメイキング体験



昼間部ブライダル科Aクラス 記念集合写真



ブライダル科を対象としたホテルのチャペルでの  
模擬挙式体験

## 2年生対象 加豪留学説明会を開催

～2019年度 10か月留学プログラム～



説明会に参加した学生

2019年4月出発となる留学プログラムについて希望者対象の留学制度説明会を実施しました。

この説明会は、カナダ・オーストラリアの先生方をお招きして、留学プログラム、渡航先での生活についてプレゼンテーションをして頂くことにより参加希望者の理解を深めるものです。

留学先のカナダ・ダグラスカレッジからMark Elliott先生とJanice Sestan先生、オーストラリアホームズグレンからは、Ryoko Winstanley先生とAi Lin Bhugun先生、計4名が来校、留学プログラム内容や年間スケジュール、ホスピタリティ企業インターンシップなど解説をしていただきました。



質問に答える・ジャニス先生・マーク先生

## 「にぎり寿司」体験を実施

～留学生対象～

4月に入学した留学生を歓迎するため、留学生「にぎり寿司」体験を開催、留学生16名と日本人学生6名、教職員16名が参加、プロのすし職人を講師にお招きし、巻きずし、握り寿司に挑戦しました。

クラスや学年の違う留学生、日本人学生と交流することもこのイベントの目的でした。学年、国籍問わず、すぐに打ち解けてLINE交換をするなど積極的に交流している姿が見られました。



石塚校長も挑戦



初めての挑戦  
「にぎる」より食べる方が簡単！

## 宿泊研修室をリニューアル

～現場と同じ環境で学ぶ ホテルを意識した教室～

「宿泊研修室」は宿泊部門のすべてを学ぶ教室です。その「宿泊研修室」に、今のホテル業界のトレンドを反映したフロントが新しく登場しました。

フロントの背景などに和紙を使用し、暖かで明るいフロントカウンター。さまざまな人が集まり交流し、お互いに刺激を与えながら成長する様子を、大きな円と色でイメージしています。



リニューアルされた宿泊研修室 フロントカウンター

## 高野登氏が特別講演

～本校一期生/元ザ・リッツ・カールトン・ホテル日本支社長～



高野氏を囲んで

説明会では、武内副校長、山本副校長から各々ホテル・ブライダル業界の現状と展望。進路責任者の神保先生からは本年度の進路決定状況と学生とのトークを交えた具体的な就職活動状況のお話がありました。

また、ホテル・ブライダル業界で活躍する卒業生と、本校の在校生も大勢かけつけ、入学を検討している高校生の皆さんと学校生活、就職してからの具体的な状況などのお話もありました。

今年度新たに発足した「ホテル＆ブライダル研究会」の第一回目の活動が5月2日、東京湾の景色が一望できる「ホテルインター コンチネンタル東京ベイ」で開催されました。



披露宴会場に感動



ランチコースを体験  
Italian Dining Zillionにて

ホテルブライダル研究会は、今年発足した新しいクラブ活動です。クラブ活動といっても、部員は登録制ではなくその都度募集して抽選を行っています。そのため気になる活動に気軽に参加できます。



高野氏の情熱的な講演



高野氏のサイン本を持って記念写真

## ホテル＆ブライダル研究会発足

ホテル見学では、人事部長の角野様よりホテルの概要を丁寧に教えていただき、ホテル内のチャペルや宴会場をたくさん見せていただきました。

今回の活動では、抽選で選ばれた1年生19名が参加し、普段なかなか利用できないホテルでの貴重な体験をさせていただきました。



会社説明 人事部長 角野氏

## クラブ活動紹介（2）

### ダンス同好会



2年生と1年生が一緒になり、話し合いで、ダンスのジャンルや曲を選定していきます。人数が多いときは10名、少ないときは3名と、比較的自由な同好会です。

ダンス部として他の学生にダンスを披露できるのは、「2年生 体育祭」「卒業ライブ」の2回、どちらも任意ですので、行わない時もあります。

ダンス同好会は男女、ジャンル関係なく、初心者も入部することができます。学生の「主体性」を大事にした同好会です。



同好会のメンバー

### 軽音楽同好会



卒業記念式典後のパーティーで披露! 観客は1000名!

同好会の主な活動内容はバンド毎のスタジオ練習が中心。卒業式の日に開催される卒業記念パーティーでライブに出演することを目標にそれぞれが日々練習に励んでいます。

毎年ホテルの大宴会場で行われ、卒業生および保護者、そして先生方、約700名の前での演奏ですからメンバー全員気合が入ります。

2007年3月に初出演し、2018年3月の卒業記念パーティーで12回目のライブ演奏となります。



# ～JHS 同窓会便り～

## 第47回スコールクラブアジア大会2018・マカオで最優秀賞を受賞 ～ヤング・スコール・クラブ・ジャパン～

マカオのフィッシャーマンズワーフのリジェンドホテルでアジア地区スコールクラブの役員会、国際会議場で第47回スコールクラブアジア大会が6月20日～24日に開催され、本校の昼間部英語専攻科の学生が会員となって組織化するYSCJ(ヤング・スコール・クラブ・ジャパン)がアジア地区最優秀賞「Skal Asian Area Best Young Skal Club」を受賞しました。



今回、YSCJの会員数、そしてフィリピン、イタリア、カナダ、オーストラリア、グアムでの交流など内外にわたる活動実績が評価されたもので、2015年、2016年に続き、3度目の最優秀賞受賞となりました。

### ヤング・スコール・クラブ (YSC)

「ヤング・スコール・クラブ」は、1995年に創設された新しい会員のカテゴリーで、次世代を担う人材育成、会員増を目的とし、18歳から35歳の学生および業界人を対象としています。本校では、約400に及ぶ世界各地のクラブがヤング・スコール・クラブを促進しているのを機に、2015年「YSCJ」を立ち上げ、英語専攻科の学生という立場と同時にYSCJの国際会員として立場を作ることで、これら二つの立場から、国際的視野に立つ意識を自覚させ、観光業界の将来を担う人材へ成長するためには、国際人を目指す学生には有益だと考えています。

現在、世界のヤングスコール会員総数は約800人、スコールクラブ東京に所属するYSCJの会員数は105名(=JHS英語専攻科の学生)で、全体の13%を占めています。

## 第49回 JHS 同窓大学を開催 ～ネスタリゾート神戸で開催～

卒業生で構成される「同窓大学」をネスタリゾート神戸で開催。神戸にホテスクの同窓生が集合しました。勉強会の教授役は本校の卒業生であり、同ホテルの総支配人藤本満寿雄氏(1981年卒業)が務めました。藤本総支配人より、総合リゾートホテルの今後や、人材の育て方などについて、熱く展望を語って頂き、議論を交わしました。

一昨年7月にオープンしたこのホテルは、東京ドーム65個分の広大な敷地内に、「リゾート&エンターテイメント」をテーマに様々なアクティビティが体験できます。2017年の年間来場者数は約60万人、今後100万人を目指して努力されているそうです。



## 第25回 JHS ソムリエクラブを開催 ～日本を代表するグランメゾン レストラン「アピシウス」にて～



料飲関係の企業で活躍する日本ホテルスクール卒業生の資質向上と、卒業生との交流を深めることを目的とした「JHSソムリエクラブ」は、日常の業務では体験できないような話題性のある店舗や会員が勤務しているレストランなどで開催します。



■同窓会に関するお問い合わせ  
同窓会事務局

TEL : 03-3360-8231 FAX : 03-3360-8584

卒業生や学校関係者27名が集い、2月27日、「第25回ソムリエクラブ」をレストラン「アピシウス」で開催しました。

会合では、昨年NHK「プロフェッショナル 仕事の流儀」でも紹介されたシェフソムリエ情野博之氏からサービスを受けました。

このようにJHSソムリエクラブの会合では、料飲に関連した著名人を招き、レクチャーを行い普段聞くことができない話題も聞くことができます。



■ソムリエクラブに関するお問い合わせ

担当:川上 TEL:03-3360-8231 kawakami@jhs.ac.jp



# 財団ニュース

## 日露経済・観光交流ミッションに参加 ～日本から200人の訪露団、モスクワ、サンクトペテルブルグの二都市訪問～

2018年4月26日から5月1日まで、日露における国際理解と双方向交流の発展を目的として「日露経済・観光交流拡大ミッション」が実施され、日本からは二階俊博自由民主党幹事長を団長として、政財界、観光団体、運輸・観光関係、自治体などから幅広い関係者約200名の訪問団を結成し、モスクワとサンクトペテルブルグの二都市を訪問しました。

この間、27日の「日本・ロシアフォーラム」では、主催者である毎日新聞丸山昌宏社長、ロシア・ガゼタ（ロシア新聞社）ハーベル・ネゴイツア社長の挨拶から始まり、上月豊久 駐ロシア特命全権大使より安倍晋三内閣総理大臣のメッセージが代読され、続いて二階俊博自由民主党幹事長による講演が行われました。



サンクトペテルブルグ、タレオンホテルで開催された行政・観光関係代表団の全体夕食会後列左から3番目=石塚勉理事長

なお、当財団からは石塚勉理事長、黒沢由美子理事長補佐、片岡衛参事の3名がこのミッションに参加しました。



サンクトペテルブルク視察  
中央：石塚勉理事長 左から：片岡衛参事、黒沢由美子理事長補佐

## 2018年度合同入塾式を挙行 ～第18期ホテル産業経営塾・第8期マイス塾～



両塾生の皆様と関係者

ホテル産業経営塾は、2001年に開塾、グローバルに日々進化している新しいマネジメント手法を吸収し、各種課題を討議することにより、実践に適用し、結果を残すことのできるホテルのミドルマネジメント、経営・運営責任者の育成を目的としており、これまでに372名が卒塾しています。

MICE塾では、MICEビジネス獲得を目指すホテル旅館、会議展示施設、自治体、コンベンションビューロー、旅行エージェント、DMO法人（地域観光事業の推進組織）、PCO（会議等の企画運営会社）、DMC（広告代理店）等々の中堅幹部を対象に、すぐに役立つ実践的なノウハウの取得を目指しており、これまで73名が卒塾しています。



講演会では、山形弁研究家のダニエル・カール氏と写真家のマイケル・マーティン氏が「海外から見た日本の魅力」についてお話をいただきました。カール氏は「日本の温泉文化は独特で、まだ海外ではほとんど知られていないが、若い世代では日本のアニメやマンガで温泉を知り、訪日する人もいる。地域によって異なる豊富な食文化も日本の魅力だ」と語り、インバウンド客の宿泊先としての温泉旅館の潜在力の高さを示していただきました。

5月11日、当財団が主催する「第18期ホテル産業経営塾」と「第8期MICE塾」の合同入塾式を挙行しました。2018年度は、ホテル産業経営塾25名、MICE塾16名の計41名の方が入塾、来年3月15日の卒塾式に向けて、ホテル産業経営塾は5月25日より、MICE塾は5月18日より、全16回の講義が予定されています。

主催者の石塚勉理事長の挨拶に始まり、ホテル産業経営塾：田中勝名誉塾長、藤崎齊副塾長、MICE塾：川島久男塾長、徳永清久副塾長、浅井久乃特別顧問がそれぞれの立場から新入塾生に祝辞とメッセージが送されました。

また、来賓としてご臨席の両塾同窓会会長南安氏（株式会社ロイヤルパークホテルズアンドリゾーツ常務取締役）より、祝辞と励ましの言葉を頂戴しました。



■ホテル産業経営塾・MICE塾に関するお問い合わせ  
事業本部 浅山恵一 asayama@jec-jp.org TEL:03-3367-5663



## 日本旅館国際女将会 通常総会を開催 ～三井俱楽部にて～

日本旅館国際女将会通常総会が6月12日、三井俱楽部にて開催され、会員及び関係者35名が参加しました。

2018年度事業計画・予算計画、2017年度事業報告・決算報告の後の役員改選では、長坂正恵会長が会長に再選されました。



山形弁研究家のダニエル・カール氏



左端：会長に再選された下呂観光ホテル 長坂氏

編集責任者：石塚 勉  
編集担当：黒沢由美子  
連絡先：03-3360-8231 kurosawa@jhs.ac.jp